



森の健康診断

松くい虫被害の現状は

渡部委員 町内の松くい虫被害は増えているのか。

当局 被害量は、28年度の速報値ではあるが365㎡で、過去5年間をみると、おおむね横ばいで推移している。

森林再生の対策は

渡部委員 今後どのように再生していくのか。

当局 境界明確化が終わったところから「森林経営計画」を作り、それに基づいて整備し、森林を元気にしていく。

畜産生産拡大支援
機械導入支援とは

田中委員 飼料用稲の刈り取り機械設備とあるが、機械を増やすのか、あるいは更新か。

当局 現在、町内では約30haの作付をしており、そのうち約26haを作業受託組合で作業している。

新たな組織の立ち上げ、体制整備を行い生産に努めていく。機械は、新たな組織で新規に購入するものである。

商工費

買い物環境充実支援
実証実験の成否の判断は

佐藤委員 地区を限定した実証実験だが、成否の判断として何を想定しているのか。

当局 あくまでも実証実験で、成否の判断は想定していない。支援対象の事業者が事業として成り立つのか、どのような支援が必要なのかを検証したい。

土木費

西廻り幹線道路建設に関わる取り組みは

小形委員 現在の取り組み状況

と、29年度の建設に向けた運動の考え方は。

当局 現在、蚕桑・鮎貝地区で促進協議会を結成し取り組んでいる。長井地区にも協議会があり、今後は長井地区の協議会と話を進め、一本化の取り組みをはかっていきたい。

中丸池の対策は

石川委員 中丸池は満砂状態で

あり、豪雨により土砂が越流したら、下流に大きな災害を及ぼすが、対策は。

当局 25年・26年の豪雨により、満砂となったことは承知しているが、土砂を取り除くには数億円かかるの見積もっている。万が一を考え、大型土のうを準備している。

教育費

教員の勤務時間の軽減は

笹原委員 校務支援システムの導入で労働時間の軽減はなるのか。

当局 情報の共有と再利用によって効率化がはかられ、教職員の負担を減らし子どもと向き合う時間を確保し、教育の質の向上に努めたい。



熱心に指導（白鷹中）